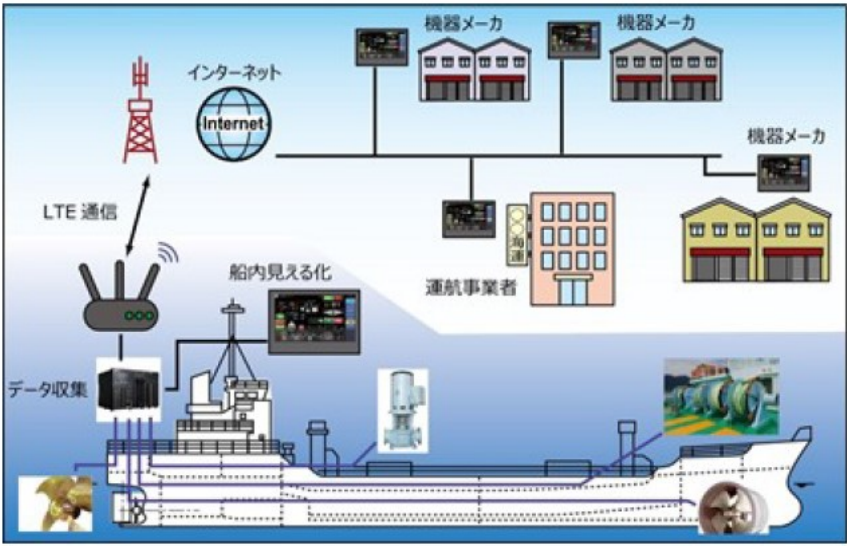


## 令和4年度交通運輸技術開発推進制度 新規研究課題の概要

採択課題名	IoT を活用した実海域での省エネ効果モニタリングシステム構築による空気潤滑システムの実用省エネ効果向上の研究
研究実施者	国立研究開発法人海上・港湾・航空技術研究所
概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 船舶の全抵抗の60～70%を占める水との摩擦抵抗を低減できる空気潤滑法について、昨年度のフェーズ1※では空気潤滑システムの内航船へ適用した場合の有用性と実海域で制御システムの有効性の確認を行った。</li> <li>○ 本研究では、運航中の内航船について、船体や海象等の状態に合わせて自動制御を行う空気潤滑制御システムの開発を行う。</li> <li>○ 内航船への本システムの普及とそれによる温室効果ガスの排出削減を目的とする。</li> </ul> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;"> <p style="text-align: center;">※ 2021年度プロジェクト推進型SBIR フェーズ1支援/科学技術振興機構 (JST)</p> </div>

採択課題名	内航船の船員労務負荷低減と環境負荷低減、安全性確保の両立を目指した陸上遠隔サポート技術の確立
研究実施者 (※は代表者)	株式会社 SK ウインチ※、一般社団法人内航ミライ研究会 (国研) 海上・港湾・航空技術研究所 海上技術安全研究所
概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 船員労務負荷の低減に資する船内機器の監視による遠隔サポートシステムについて、昨年度のフェーズ1※では本システムのプロトタイプを開発した。</li> <li>○ 本研究では、運用方法の最適化や関係事業者との実証試験等による本サポートシステムの確立を目的とする。</li> <li>○ 本サポートシステムにより、船員労務負荷の低減、環境負荷の低減、安全性確保の三者の両立を目指す。</li> </ul> <div style="text-align: center; margin: 10px 0;">  <p>陸上サポートシステムのイメージ</p> </div> <p>※ 2021 年度 SBIR 推進プログラム / (国研) 新エネルギー・産業技術総合開発機構 (NEDO)</p>

採択課題名	深層学習を用いた高時空間分解能の地表面温度プロダクトの改良と道路等の都市インフラ分野への実装
研究実施者	株式会社天地人
概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 衛星画像から得られる地表面温度（LST）について、昨年度のフェーズ1※では静止気象衛星ひまわりによる観測頻度を向上するアルゴリズムを開発した。</li> <li>○ 本研究では、LSTの雲等による欠損の補完や高解像度化により、実用化レベルのLSTプロダクトの開発を行う。</li> <li>○ ヒートアイランド現象の解析、インフラの劣化予測、農業への活用等、幅広い分野への活用を目的とする。</li> </ul> <p>※ 2021年度SBIR推進プログラム／（国研）新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）</p>